

# Card Seek ブロマガ(2013臨時特集号)

2013年1月20日

「日本再生と絆」

小河 俊紀

## 会津福島と私の不思議な縁

私には過去約7年間にわたって福島県、および初代会津藩主 保科正之公との不思議なご縁がある。

それを強烈に実感したのは、あの東日本大震災が起きて直後だ。それまでの偶発的ないくつかの体験が、ひとつの必然のように繋がってしまったのだから。

事実、その一連の体験記は、在籍しているヤマハO B会ホームページに「共生」をキーワードに、大震災前後4部作で連載した。

② (同会のご協力で、バックナンバーを私のホームページに全編転載したので、できればそちらも御高覧願いたい。

<http://cardseek.justhpbs.jp/page.html> Vol.4 は、同会ホーム

ページでも掲載中 (<http://yob-tky.net/04gallery.html>)

## 大河ドラマと福島

私は、例年期待を込めて正月特番（特にドラマ）を鑑賞する。

今年の2日には、幕末の会津を舞台に北大路欣也主演の長編時代劇「白虎隊～敗れざる者たち」が放映されていた。



さらに、6日には、幕末の会津で生まれ、明治時代に大活躍した新島八重を主人公にした「八重の

桜」がNHK大河ドラマとして始まった。

幕末時期（1860年代）に起こったアメリカの南北戦争がドラマのプロローグというのも意外性があったし、最新型カメラを使った美しい映像も印象的だった。

しかし、一番新鮮だと思えたのは「会津は本当に天皇に謀反した賊軍だったのか？」という製作者の問いかけがしっかり感じられる点だ。それは、TV東京の前記「白虎隊～」でも共通だ。

ヤマハO B会連載でも書いたが、東北地方、

特に福島・長野の方々にとって、神と崇める  
初代会津藩主 保科正之公の大河ドラマ化は  
悲願である。それは今なお未達だが、ともか  
く福島の復権番組登場は感慨深い。

### そば打ちと福島

話題は変わるが、私は3年前から隣の  
そば打ち同好会に入り、月1～2回  
マイペースで愉しんできた。とこ  
ろが、昨年秋、同好会の会長さん  
から「素人の趣味と言ってもそろ



そろ段位認定を受けないといつまでたっても  
上達ませんよ」と、ハッパをかけられ、「そ  
れもそうか」と、全麵協という素人そば打ち  
全国組織主宰の段位受験を決意した。ために、  
この3ヶ月間、週2～3回ペースで“そば打  
ち漬け”の日々を過ごしてきた。

習い事にこれほど根を詰めた体験は、学生  
時代以来のことだ。それほどそば打ちは奥が  
深く、若い頃のめり込んだ武道にも通じる神  
秘性がある。

ただし、今までいい加減だったから、「今回の合格はとても無理」と自覚していた。それが、なぜか1月12日の認定試験では結構上位の成績で合格できた。



下手くそな腕前にも呆れず、辛抱強く指導を続けてくれた会長と諸先輩のお蔭というしかない。

ちなみに、今回の修練の過程で、会津福島のそば生産は平安時代までさかのぼり、江戸時代以降長野と並んで日本のそば文化全体を牽引している理由が、保科正之公に由来することを私は初めて知った。1643年、高遠藩（長野）から会津藩主に国替えとなった際に、「高遠そば」を会津に持ち込んだのだ。（詳しくは、下記サイトご参照

<http://sobaweb.com/magazine/200854/20080514211712.html> )

それは実に、江戸にそば文化が花開く50年以上も前だったという。ちなみに、保科正之は、第三～四代将軍を補佐し、270年に

わたる幕藩体制の基礎と平和を

築いた巨人でもある。

趣味の世界でも、私は保科公

に出会った。



## 震災の教訓と日本再生のキーワード

バブル崩壊以降、長きにわたって自信を喪

失してきた日本人にとって、東日本大震災は

追い打ちを掛ける悲惨な出来事だった。

しかし、この災禍を経て、多くの日本人は

「絆＝縁の大切さ」に気付いた。人であれ、

自然であれ、企業であれ、地域であれ、国家

であれ、すべては連鎖しているのだと。

地球全体は、例えて言えばひとつの人体の

ようなもので、構成要素の大小、形状、機能

に拘わらず無駄な存在はひとつもない。すべ

ては連鎖・共生し脈動していると。

おそらく、明治以降現在に至るまで「競争

の原理＝実力主義＝淘汰＝善」という社会風

潮は絶対的な力を拡大してきた。しかし、そ

れは「共生の上に成り立つ新陳代謝」と置き

換えて初めて正しい。共生がない競争は、単なる弱肉強食（仏教で言う“修羅界”）に過ぎず、最後は共倒れになる。

震災は、それを私たちに教えてくれた。

### マネーの連鎖と中小企業

私が6年前に特許を取得し、実現を目指す夢の決済構造は、「売掛圧縮、購入代金繰延共存」のカード機能を活用し、個人消費と企

業間取引を“連

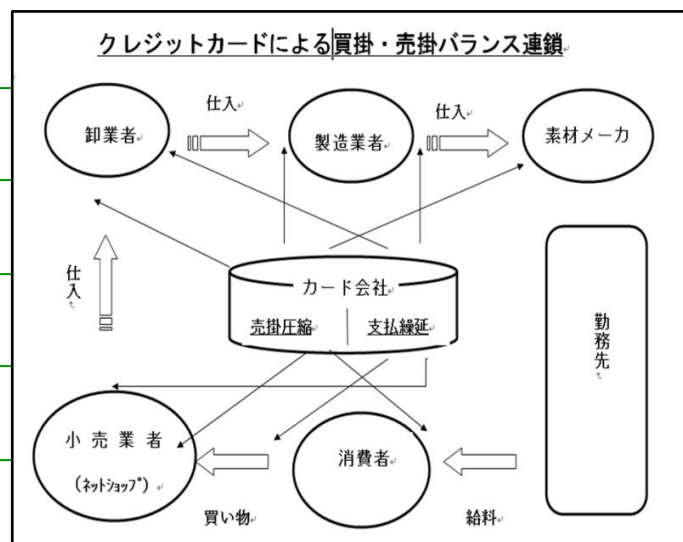
鎖的に活性化”

させる」世界だ

(右図)

業種・業歴・

業容を問わず、



クレジットカードで売上を可視化すれば、その範囲で売り手には販売代金を立替え、買い手には購入代金の後払いを認める。それが可能になれば、素材メーカーからメーカー⇒卸⇒小売⇒消費者に至るまで、おカネという血液は一気通貫で全身を巡る。毛細血管のよう

な 中 小 企 業 に も マ ネ ー が 流 れ る 。 帳 簿 上 黒 字  
な の に 売 掛 回 収 が 詰 ま り 、 運 転 資 金 が 枯 渴 し  
て 起 こ る 黒 字 倒 産 は 消 滅 す る 。

### 今 年 の 干 支 「 巳 」

今 年 の 干 支 、 「 巳 」 と い う 字 は 、 胎 児 の 形  
を 表 し た 象 形 文 字 で 、 蛇 が 冬 眠 か ら 覚 め て 地  
上 に は い 出 す 姿 か ら 「 起 こ る 、 始 ま る 」 を 、  
そ し て 時 に は 脱 皮 す る 姿 か ら 「 復 活 す る 」 の  
意 味 が あ る そ う だ 。

東 北 が 復 活 ・ 復 権 し 、 日 本 が 本 当 の 再 生 を  
始 め る 年 と な る よ う 願 っ て 、 本 稿  
の 締 め と し た い 。

